

環境と健康



最新の機器で検査(上)、ボールを使った無料のストレッチ体験(下)

レディースデイ開設日	
5月	9日(火)
6月	6日(火)
7月	4日(火)
8月	1日(火)
9月	5日(火)
10月	3日(火)
11月	7日(火)
12月	5日(火)
1月	9日(火)
2月	6日(火)
3月	7日(火)

平成28年度、健康クリニックの人間ドックでは、主に40〜50代の主婦層を対象に、受診される方およびスタッフも全て女性による「かんぽきょうレディースデイ」を10月から試行的に開設し、

「かんぽきょうレディースデイ」スタート 女性スタッフによる心を込めたおもてなし

まずは検査前の問診です。口頃の健康に関する悩みや気になることを少しでも解消していただくため、検査前に看護師、保健師による問診を個別に行います。また、検査前の不安を少しでも取り除き、リラックスして受診していただきたいと思います。

また、Fitnessスタッフによるボールストレッチ

「かんぽきょうレディースデイ」では、多くの女性に気軽に安心して利用いただけるよう、レディースデイならではのサービスを意識しました。

55人の方にご利用いただきました。仕事を抱えている女性、職場などで健康診断を受ける機会がありませんが、家庭におられる女性、そういった機会も少なく自分の健康管理は後回しになりがちです。しかし、女性特有の病気の早期発見・早期治療のためにも、定期健診はとも大切なことです。

コミュニティ活動8件の事業を審査 ポスター・標語コンクールに23公衛協が参加



当協会では、地区衛生組織の実践活動を支援するために積み立てた地域活動支援基金を活用し、公衛協が展開する実践活動、学社融合の取り組みを資金的に支援しており、今年10年目を迎えます。

環境と健康のコミュニティ活動助成事業は、新規に取り組む「導入型」、継続事業で課題改善に取り組む「発展型」、対象範囲を拡大し、住民・事業者・学校などを広く巻き込む「広域型」の3部門で募集しました。今年度の申請件数は、導入型1件、発展型6件、広域型1件、計8件で、6月13日に開催した第2回地域活動支援基金運用委員会で審査が行われ、採択1件、条件付き採択6件、再審査1件となり、それぞれ手続きを開始しました。

環境と健康のポスター・標語コンクール事業(旧環境啓発ポスター・標語コンクール事業)は、公衛協が学校を通じて、小・中学生から作品を募集するもので、従来からの環境分野に加え、新たに健康分野の作品を募集します。今年度

は廿日市市宮島公衛協が新規に参加し、23公衛協、約270校が参加予定です。

集めた作品は、各公衛協で第1次選考を行い、次いで当協会の選考委員会で第2次選考を行った後、部門別に入賞作品を決定します。12月1日の第58回広島県公衆衛生大会(広島国際会議場フェニックスホール)では、最優秀賞受賞者をはじめ、近隣市町からの受賞者への表彰が行われます。入選作品は会場に掲示するほか、当協会ホームページや情報紙などで公開する予定です。また、作品の募集や選考にかかる事務経費、祭りやイベントでの作品展示や表彰式の開催、優秀作品を各種グッズに印刷し活用する事後フォロー活動には経費の助成がありますので有効にご活用下さい。

今年度は、コンクール10周年を記念して、過去の優秀作品などを展示する巡回展示会を県内複数力所で開催します。ぜひ、お近くの会場に足を運んで、新旧の優秀作品をご覧ください。(地域支援課)

の無料体験もできます。検査の合間に、ボールを使った簡単なストレッチを体験し、心も体もリフレッシュしてお帰ってください。

最後に、全ての検査が終了しましたら、当日の検査結果を基に女性医師が丁寧に診察いたします。皆さまにきつと満足していただけたと思います。

今年度は5月からスタートし、既に79人の方にご利用いただいています。

生涯を通じて、健康で明るく、充実した日々を過ごすために「かんぽきょうレディースデイ」を是非ご利用ください。女性スタッフ一同、心よりお待ちしております。

(健康クリニック)

きんせんか 琴線歌

昨年の四月に広島県職員を退職し、山陽女子短期大学にまいりました。それから二年がたち、新たな仕事をスタートすることの大変さを今更にはありますが、身に染みています。▼私は退職前の仕事で、食品関係の企業の方から技術的な相談を受けて、その相談事を解決しなければならなかった。度々ありましたが、企業の技術的な課題に対して一つひとつ対応する中で技術力が高まり、課題解決能力が磨かれました。一方、企業の技術者の方も解決体験を糧に解決ルートを大切にしてくださり、新たな課題が発生したときにはまた利用されるようになります。このような関係を繰り返すとお互いに親しみが湧き、何かあったときに協力してあげたいと思うようになります▼学生にも何かあったときに関係が深めら

人材を送り出す喜び

山陽女子短期大学食物栄養学科教授 岡崎 尚

ですが、どの学生にも丁寧に接することを心がけています。学生たちには「コツ」とやていくことの大切さを覚えてもらえれば、それが全てに通じると思っています。▼些細な話ですが、社会で役に立つ人材を送り出すことに関わっていることに喜びを感じ、人生ももう少し頑張る気持ちになつてまいりました。



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~ 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号 (広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

かんぽきょう

検索

基本理念

~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。

